

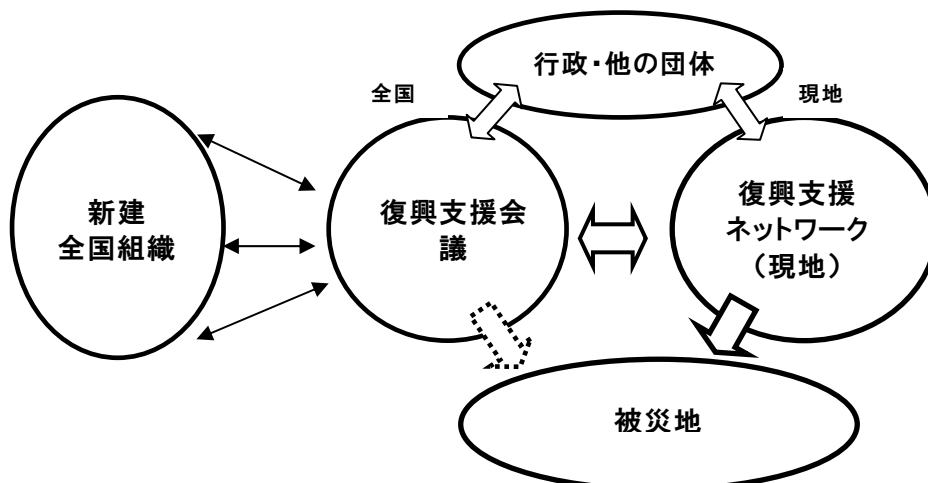
新建東日本大震災復興支援会議（略称：新建復興支援会議）の設立

2011年4月5日
新建全国常任幹事会

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、地方都市とその周辺域の高齢化社会を襲った超広域に及ぶ複合災害である。したがって、復旧・復興、生活再建は大変困難で、従来の経験だけでは対応できない問題が山積みである。

40を超える市区町村の復興には膨大なマンパワーが必要となる。新建も建築とまちづくりの専門家集団として、他の建築やまちづくり団体と協力してこの復興を全面的に支援する。その中心となるのは被災地の新建支部と在住の会員であるが、全国組織としても被災地の（東北だけでなく関東や信越を含めた）活動と協働して復興を支援する組織として、新建東日本大震災復興支援会議（略称：新建復興支援会議）を設立する。

1. 新建復興支援会議は全国常任幹事会に付属する組織とする。
2. 新建復興支援会議は次の役割を担う。
 - 1) 現地の会員や支部が行う復旧支援に人的、技術的に協力する。
 - * 建築被害の診断
 - * 建築の改修、建替えに関する相談と実施
 - * 建築に関する法律や制度の相談
 - 2) 現地における専門家の支援ネットワークの設立や組織強化を支え、支援ネットワークと新建全国組織とのパイプ役となる。
 - 3) 新建が震災や復興に関する声明・提言・マニュアル等を発表する際のまとめ役。
 - 4) 復興事業においては地元支部、支援ネットワークと協働して事業支援体制をつくる。
 - * まちづくりに関する相談や支援
 - * 共同建替えの相談や支援
 - * 共同住宅・マンションの耐震診断や補強を伴う大規模改修、建替えの相談や支援
3. 新建復興支援会議は現地（仙台）に活動拠点を設け、必要に応じて新建会員が駐在して支援を行える体制を整える。
4. 発足時の新建復興支援会議は次のメンバーとするが、必要に応じて増員補強する。
本多昭一（議長） 塩崎賢明 阿部重憲 岩渕善弘 佐藤隆雄 丸谷博男
黒田達雄 大槻博司 摺木勉 五十嵐純一 三浦史郎 進士善啓 若山徹 千代崎一夫
鎌田一夫（事務局長） 山下千佳・松木康高（事務局次長）



* 新建復興支援会議の役割や体制については、4月はじめに先遣団と現地支部との合同会議の結果を踏まえて正式に決める。

* したがって、この案は現地支部との合同会議で全国の意向として提案する。